

説教「キリストの復活」

(出エジプト記 14 章 15-22 節 マルコによる福音書 16 章 1-8 節)

2022 年 4 月 17 日復活祭主日礼拝

日本基督教団仙川教会

大串肇牧師

婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。(マルコ 16:8)

皆さん、安息日が終わると、すなわち日曜日の朝、「マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメ」はイエスに香油を塗るに行くと、墓の入り口をふさいでるはずの石は取り除かれ、神の使いと思われる白い長い衣を着た若者と出会いました。そしてその若者からイエスが復活したことを聞いたのです。イエスの墓の下に来たのは、イエスが処刑される時もその場から離れずに、イエスの死を目撃した女性たちでした。彼女たちは信仰もあつく、決して逃げませんでした。他方、イエスの弟子たちは皆逃げ去ってしまいました。ところが、その女性たちでさえ、復活の知らせを聞いて「墓を出て逃げ去り」、「震え上がり、正気を失った」。彼女たちも「恐ろしかった」のです。女性たちは弟子たちに比べて英雄視されがちですが、彼女たちも信仰の弱い人たちだったのです。

墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおりに、そこでお目にかかれる』と。」(6節)

新共同訳聖書はで、イエスは「復活なさった」と訳されています。原語ではエゲイロー「起こす」という意味の言葉です。その受動態です。直訳するとイエスは「復活させられた」となります。つまり、イエスを死者の中から復活させたのは神ご自身であり、復活は神の奇跡なのです。イエスの十字架の死は終わりではなく、新しい命の出発でした。それを可能にさせたのも人間の力ではなく、神である。このことが復活の本質です。女性たちの驚きも恐れも単なる恐怖や不安ではなく、ここには神がいらして死者を蘇らせるという神ではなくしてはできないことを神はなしてくださった。そのことに対する恐れであります。聖なる感情であると言えるのではないのでしょうか。復活こそ、死と滅びに対する勝利であり、死んだ者に命を与えてくださる。これはまさに神の勝利、神の栄光なのです。

今朝は、ちょっとしたサプライズなのです。ドイツ・バロック音楽による礼拝です。バッハの同時代、バッハ、バッハ以前の作曲家でありオルガニストの作品から有名な作品が、前奏、音楽奉獻、後奏が構成されています。特に説教後の歌う讃美歌は宗教改革者マルティン・ルターが作詞した讃美歌(1524年)です。(後奏はその讃美歌によるオルガン曲を演奏して下さる)。

讃美歌の歌詞を翻訳すると、

キリストは罪の縄目に	捕らわれた ¹
われわれの罪のために	与えられた。
彼は再び復活し	我々に命を賜った。
我々はそのことを喜び、	神をたたえ、
神に感謝し、	歌おうではないか、
ハレルヤ、ハレルヤと。	

ルター派の教会で最も愛されたイースターの礼拝のための讃美歌です。イースターはただのお祭りではなく、キリストが我々の罪のために十字架のおつきになられた。しかし、十字架で終わりではなく、十字架を通して神はキリストの復活の命を既にもたらしてくださった。これは神の奇跡です。罪の赦し、罪からの解放こそ、新しい命そのものです。罪に死んで滅びてしまうようなわたしたちに新しい命をくださった。これがイースターの喜びなのです。

弟子たちに「ガリラヤに行きなさい」というメッセージが語られました。この天使のメッセージがペトロと弟子たちに向けられていることに注目したいのです。ペトロと弟子たちこそ、イエスが逮捕されるや否や逃げ去った人たちでした。彼らはイエスのもとに一番近くにいたはずですが、まったく無力でした。そしてイエスを本当の意味で理解していなかったのです。しかし今、イエスは彼らの不信仰の罪を赦し、ガリラヤで再会するというのです。ガリラヤとは、マルコ福音書にとって故郷であり、地上のイエスが生まれ活動した重要拠点でした。そして同時に弟子たちが最初にイエスに出会い、招かれた信仰の原点とも言うべき場所なのです。その信仰の原点に立ち帰ること。罪深い人々が再び神の愛と赦しに招かれている。それが「ガリラヤに行きなさい」という声なのです。

皆さん、わたしたちにもこの招きの声が今朝向けられているのです。わたしたちにとりまして「ガリラヤ」とはどこか。それはイエスとの最初の出会いの場です。教会で信仰を告白し洗礼を受け、罪が赦され永遠の生命が与えられたことを思い起こしてください。感謝や喜びであったではありませんか。

まさに今も変わらず、ガリラヤとはこの教会であり、礼拝です。信仰によって、死すべき運命がまったく新しい命の力によって変えられた。罪から解放され、永遠の生命が与えられる。これぞ、大いなる喜びであり、感謝です。この喜びこそが、今日の前にある不安や死の恐れに打ち勝つ力です。今わたしたちのうちにも復活祭の奇跡は起こります。キリストの復活によって神の愛と赦しの中を生きることが出来るのです。新しい命を賜ったゆえに、わたしたちは再び感謝と喜びをもって生きてまいりましょう。悲しみや恐れの中にある方々にキリストの復活を証ししてまいりましょう。

お祈りいたしましょう。

ⁱⁱ Christ lag in Todesbanden
Für unsre Sünd gegeben,
Er ist wieder erstanden
Und hat uns bracht das Leben;
Des wir sollen fröhlich sein,
Gott loben und ihm dankbar sein
Und singen halleluja,
Halleluja!